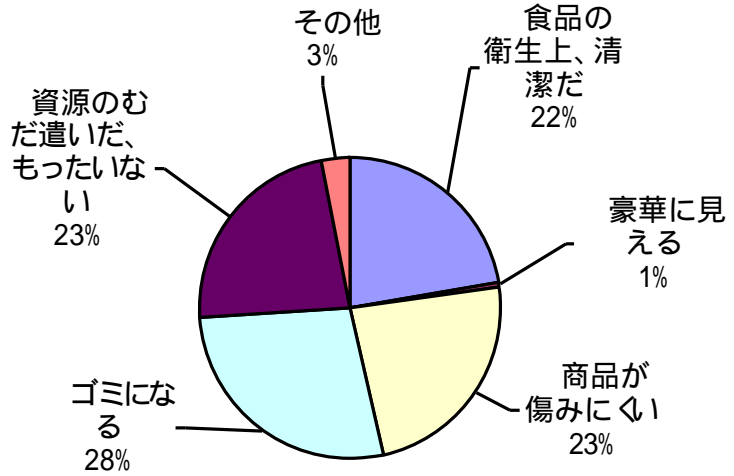


その他 2つまで

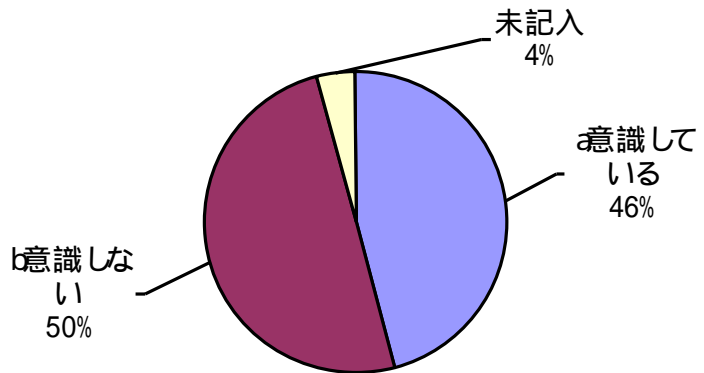
	人数
食品の衛生上、清潔だ	42
豪華に見える	1
商品が傷みにくい	44
ゴミになる	52
資源のむだ遣いだ、もったいない	43
その他	6



7.食料品を買う時、食品トレイを使用しているかどうかを意識していますか。

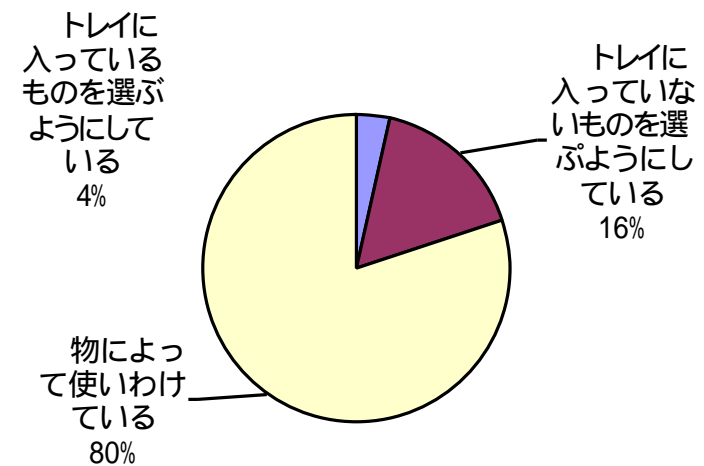
a意識している、b意識しない

	人数
a意識している	124
b意識しない	135
未記入	11



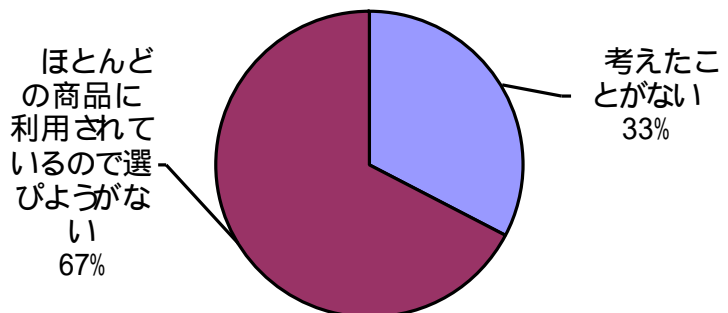
aの人はどうのように意識していますか

	人数
トレイに入っているものを選ぶようにしている	4
トレイに入っていないものを選ぶようにしている	18
物によって使いわけている	88
その他	0



b意識しない

	人数
考えたことがない	40
ほとんどの商品に利用されているので選びようがない	82
その他	0



# 第13回「ビーチクリーンアップ in 宮島 1998.9.23」調査報告

## 調査場所概念図

この調査では下に示すように発泡スチロールの破片及びカキ養殖用パイプが圧倒的に多く、広島湾のゴミの大きな特徴となっています。その多くは広島名産のカキの養殖筏から流出したものとわれ、その解決が急務となっています。

調査日時 = 92年秋より毎年2回実施 今回は9月23日に実施

(今回98年秋までに13回実施)

集合 午前9:30 調査 午前10:30~12:00

昼食・ミーティング12:00~14:00 解散14:00

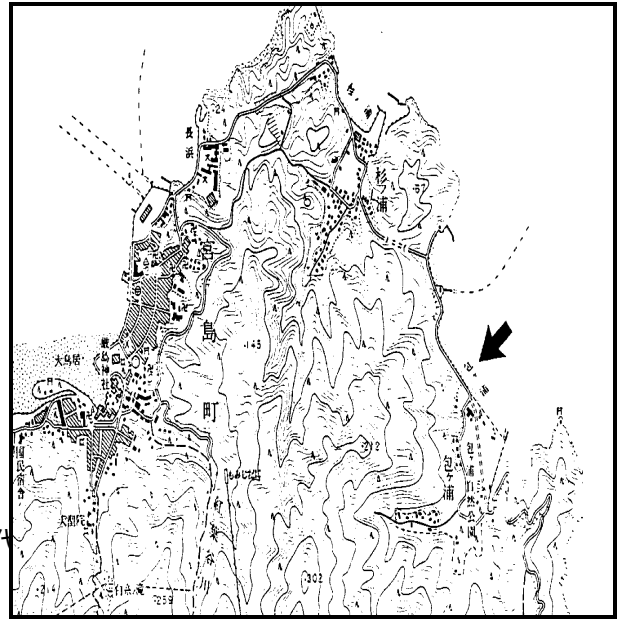
調査場所 = 宮島包が浦海水浴場

主催 = 宇宙船地球号の会

- ・ 92年はクリーンアップ関西事務局主催
- ・ 95、96年秋は広島市青少年センター主催の高校生年代環境問題講座「環境プロジェクト」との共催
- ・ 97、98年は地球号主催

今回は「みどり・子どもエコクラブ」の参加あり

内容 = 海岸ゴミの調査 時間は約1.5時間。



調査地域の概要 = 宮島は広島湾の西部に位置し、行政的には佐伯郡宮島町に属する。また、瀬戸内海国立公園に含まれると同時に日本三景の一つに数えられるなど、風光明媚な広島県を代表する観光地である。調査地域の包が浦は宮島棧橋から東へ車で約10分の所に位置し、約600mの海岸線を有する砂浜海岸である。町営の自然公園が設置され、キャンプ場やグラウンドなどの設備が整っており、夏には海水浴場として、また春秋には近郊の学校の生徒が遠足に多く訪れる。また、四季を通じてマリンスポーツの若者でにぎわうとともに、釣り客も少なくない。このように、広島市近郊のマリンレジャーの代表的な地域の一つである。

一方、広島県はカキ生産では全国の7割を占める主産地であるが、その大半が広島湾で養殖されている。ここに述べる広島湾のゴミの現状は、こうした広島の水産業の独自性、多くの島々に囲まれた湾の閉鎖性などとも関連があるものと思われる。

年月日	1996/4/21		1996/10/6		1997/4/29		1997/10/12		1998/4/29		1998/9/23	
	個数	%	個数	%	個数	%	個数	%	個数	%	個数	%
発泡スチロール破片	5986	76.8%	16,678	65.1%	4,680	71.4%	5,716	61.8%	6,842	61.7%	10,381	63.1%
牡蠣養殖用パイプ	812	10.4%	4,904	19.1%	673	10.3%	1,305	14.1%	1,968	17.8%	2,405	14.6%
たばこのフィルター	434	5.6%	1,329	5.2%	590	9.0%	533	5.8%	1,105	10.0%	956	5.8%
プラスチックの破片	115	1.5%	741	2.9%	306	4.7%	632	6.8%	384	3.5%	592	3.6%
花火	14	0.2%	541	2.1%	4	0.1%	140	1.5%	16	0.1%	652	4.0%
プラスチックの円盤	115	1.5%	111	0.4%	58	0.9%	150	1.6%	173	1.6%	179	1.1%
ビニールの破片	19	0.2%	352	1.4%	34	0.5%	78	0.8%	133	1.2%	215	1.3%
その他	299	3.8%	1,159	4.5%	207	3.2%	694	7.5%	462	4.2%	1,059	6.4%
合計	7794	100.0%	25,815	100.0%	6,552	100.0%	9,248	100.0%	11,083	100.0%	16,439	100.0%
調査人数	22		47		25		25		40		61	
一人当たり採取数	354.3		549.3		262.1		369.9		277.1		269.5	

%は少数第2位を四捨五入しているため合計は必ずしも100にはならない

発泡スチロールの破片は実際には無数にあり、全てを収集することは困難で、所定の時間内に可能な限り採取した数値